

ページのデザイン -2-



Picosmos Toolsで写真を楽しく便利に！

アルバムの作成への適用

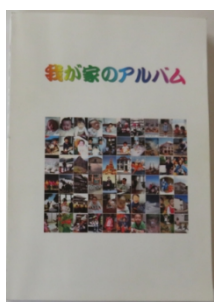
皆さんのパソコンを見ていて「どうするのかな～」と思うことがあります。それは大量の画像です。それらは最終的にどうなるのか？ そのままパソコンに入れていて陽の目に合うことがあるのだろうか？ 自分のためだけならそれでも良いの

でしょうが、紙に残せば家族に見て貰える機会があります！

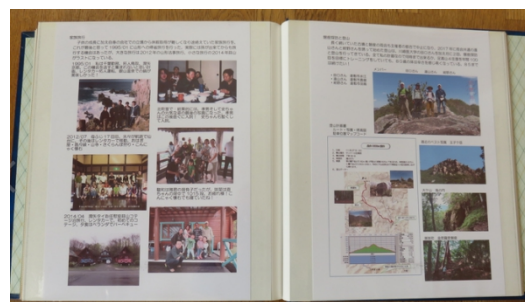
アルバムと云う形にしてみませんか？ 大量の画像をプリントに出すと大変な金額になりますが、自分のプリンターで印刷するのであれば用紙代とインク代だけで済みます。プリンター印刷物の欠点は「光（日光・室内灯も）に弱い」、枠に入れて室内に飾ったものは数年で完全に色が抜けます。しかし、ファイルに入れて本棚に入れている私のアルバムは 10 年経過しても殆ど変化していません。

作成したアルバムを印刷会社に発注してアルバム本として残すことも可能です。私がアルバムを作成したのは 10 数年前で、その後の写真は「じいじのアルバム」としてカテゴリー毎の写真を 1 枚にまとめて、時々追加しています。紙に残していますからパソコンが初期化され処分されても私の記録は残ります。

私のアルバムはこんなものです



これはじいじのアルバム



Picosmos Tools でアルバムを作成には 3 方法あります

- 1 案：ページのデザインからキャンバスを A4 白紙にして写真挿入、文字入れ
- 2 案：結合機能で写真を配置。編集機能で余白を作り文字挿入
- 3 案：編集機能を使用。写真を開いて win+shift+S でコピーして貼り付ける

2 案の結合は写真挿入が簡単に出来る利点はあるものの、写真配置が 1 ページ 1 パターンであることと、文字入れに編集機能を使わなければならない 2 度手間があります。

3 案は編集機能利用は写真配置が自由度自在である利点がありますが、写真をクリップボードに取り込んでからでないと貼付け出来ない不便さがあります。

1 案はこのページのデザインから行うもので、写真一括取込みもあり、トリミング可能、画像形変更（ハート型になど）、文字書込みがあり一番自由度が高い。以下に 1 案を説明します。

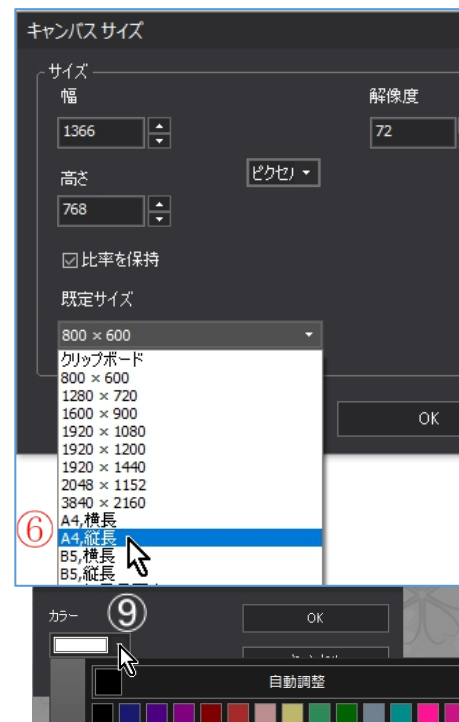
プリンター印刷で綺麗なアルバムに仕上げましょう！

1. A4白紙を作る

- ①ページのデザインを選ぶ
- ②自由シーンを選ぶ
- ③画像が表示されていなければ、適当なシーンをクリックする
- ④キャンバスをクリック
- ⑤キャンバスサイズをクリック
- ⑥A4 の場合は既定サイズの▼をクリックして A4 縦長を選ぶ→**OK**

注：ハガキの場合は、最初に口比率を維持のチェックを外し、幅 283、高さ 419px 入力（単位をセンチにすれば幅 10cm、高さ 14.8cm でも良い）

- ⑦再度キャンバスをクリック
- ⑧カラーをクリック
- ⑨白の場合はOKをクリック、他の色になっている場合はカラーの▼をクリックして白色を選ぶ（自宅印刷ではインク節約から白を選ぶ、プリントや印刷発注なら関係ありませんから好きな色を選ぶ）

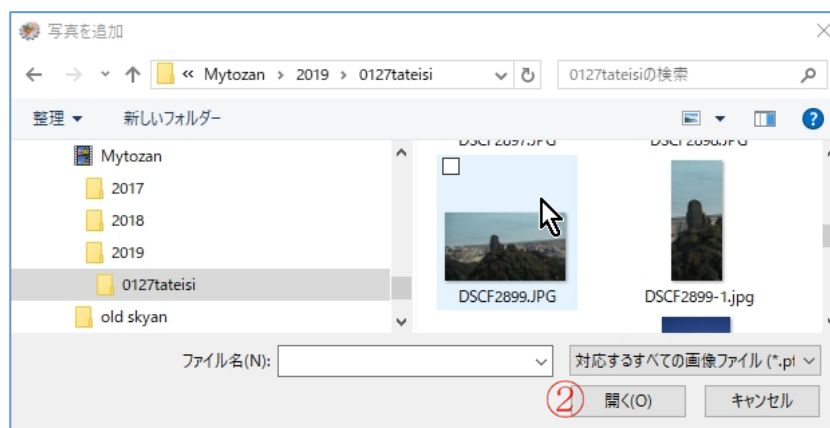


2. 画像を挿入する

- ①「写真を追加」をクリック



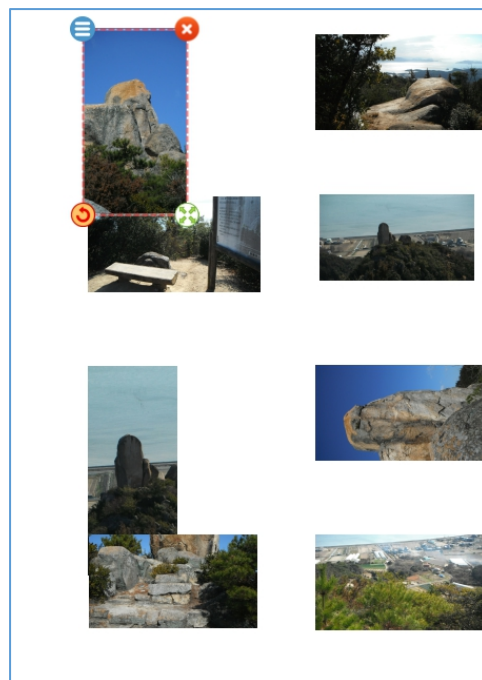
- ②写真を追加ダイアログが表示されるので、複数（6～8 枚）写真を選択して**開く**
- ③最大解像度を制限するダイアログが表示されるが、そのまま**OK**



注意：ページのデザインには『戻る』ボタンがありません

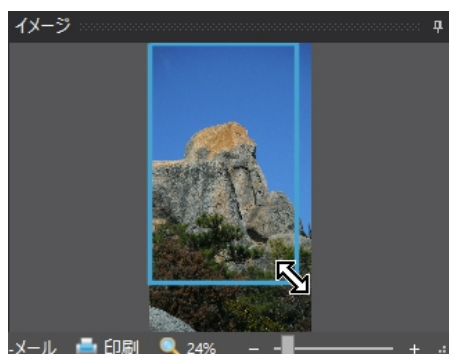
- ④ 8枚選んで挿入された状態：他のソフトと違って一カ所に重なって表示されるのではなく、ほぼ均等にばらまかれて配置されるのであとの作業が楽です。

3. 写真の拡大・縮小・回転・配置



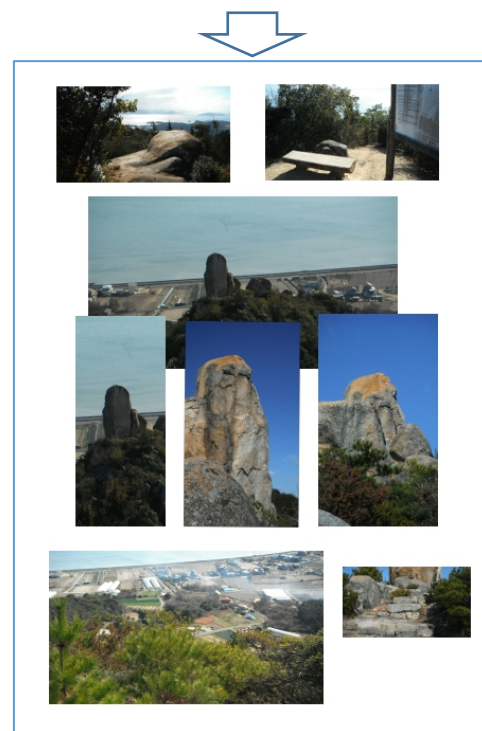
4. トリミング

- ① トリミングする画像を選択
- ② 画面右下を確認
- ③ コーナードラッグは縦横比無関係に縮小・拡大、四辺ドラッグは縦横比維持縮小・拡大



- ④ トリミング形の操作後に青線で囲まれた部分をドラッグすることで表示範囲変更可能

* トリミングと表現しましたが機能的には「表示範囲の変更」です。



5. 写真外形を変える

機能上は 40 種類に変えることが出来ますが、実用性があるのは角丸形・楕円形・正円形・ハート形・雲形でしょう。それでも他のソフトを使うこと無くここまで出来るのは便利です。

①対象写真をクリック

②中央右下の「輪郭線を追加」をクリック

②♡ 輪郭線を追加

③輪郭線を追加ダイアログが表示され、図形□▼をクリックすると 40 パターン図が出てくる



<パターン図の説明>

*現在の写真の輪郭線位置に沿った最大形に変形

*正円形にしたい場合はイメージ図で正方形にトリミングすれば連動して変わります

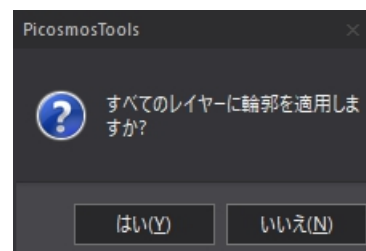
*角丸だけが角丸範囲を調整するスライダーが表示される

*元へ戻すには先頭の矩形を選んでOKする

④適用例



⑤「全てのレイヤーに輪郭を適用しますか？」にはいいえを選ぶ



画像加工としては輪郭線の色・陰影・切り抜き等がありますが、アルバム作成として効果のあるものではないのでここでは省略、第二弾の文章作成への適用編で説明することにします。

6. 写真説明書込み

文字入れは前半で説明済、ここではアルバムだから記載が望ましい記述に絞って説明します。

①左上にタイトル・年月

行事名、旅行名、活動名色々ですが年号を書く場合は西暦和暦併記が望ましい。経過年数計算には西暦が便利ですが、記憶は和暦であることが多い。

②家族写真の場合は右上肩に西暦和暦＋家族の年齢表示が便利

例：2005(H17)01 T62 K55 T32 J30 K23

③フォントサイズと実際の A4 印字の状態イメージ

番田の立石 番田の立石 番田の立石 番田の立石

サイズ 20 28 36 48 HG 丸ゴシック M-pro

④文字とは云っても出来上がるのは図形ですからドラッグで容易に拡大縮小出来るので、

サイズをあまり気にする必要はない

⑤フォント装飾は大タイトルの他はシンプル（何も無し）が良い

⑥文字列をダブルクリックすれば再度「テキストの設定」画面が出てくる

＜入力＞

①メニューのテキストをクリック



②フォント装飾は左端上・フォント選ぶ・サイズ選び、それから入力

③文字入力をし易くするコツ

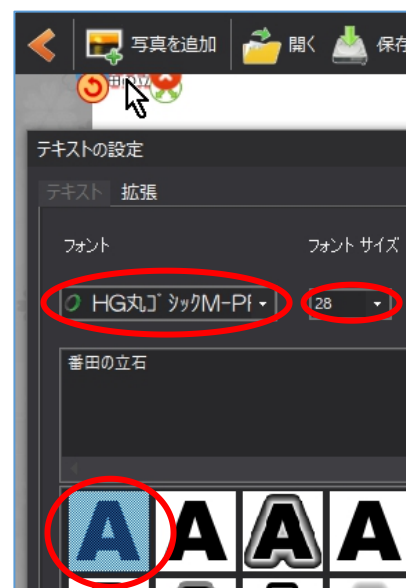
*スキンからホワイトを選ぶ

ブラックよりはスライダーが

見えやすくなり下記操作が楽になります

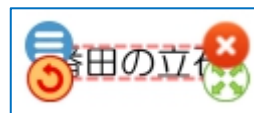
スライダーが表示されていない場合は右下隅でス

ライダーを右に動かし表示サイズを変える



*文字を打ち込みたい位置を画面最上部にするまで、画面を上下移動する（文字は表示されている画面の最上部&用紙左端に常に表示される特性です）

④文字入力→OK



⑤四隅のマークの使い方は写真の時と同じです

⑥A4の読みやすい1行文字数は word の12

ポイントの場合で40文字ですから、それを目安にすると良い

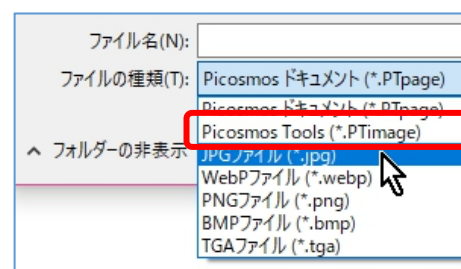
入力してみましょう！

7. 保存

完成作品は拡張子 JPG を選んで名前を付けて保存。
作業途中及び後日使用のためには PTpage もしくは PTImage を選んで保存。

PicosmosTools で作成出来るのは1ページ単位です
から、ファイル名は〇〇〇〇〇1のように番号を付けることが望ましい。

再度加工のために PTpage もしくは PTImage をクリックして開くのは
PicosmosShow と云うビューアソフトで、これで加工は出来ません。下部左の歯車マ
ークをクリックして「編集」、これで編集可能になります。ページのデザインと云う項目は
ありません、文字挿入などは同じですが画像挿入方法が違いますので、操作方法は「編集
編」を参照してください。

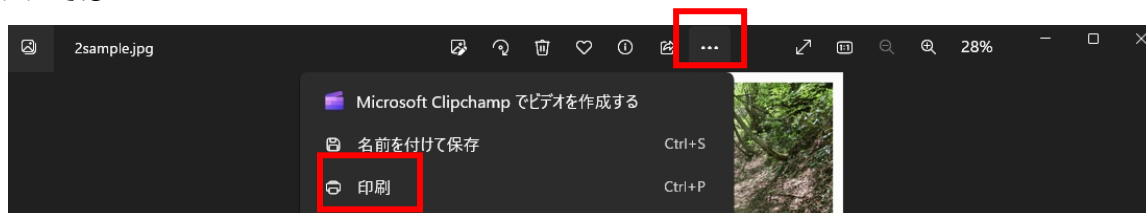


8. 印刷

プリンターによって表示が違うので手順説明出来ませんが、必ず『光沢紙』を選んで下さい。一般には保存した jpg をクリックするとフォトギャラリーが開いて、印刷クリックで接続してあるプリンターのソフトが開きます。



win11 では



用紙には「写真用光沢紙」と「光沢紙」の2種類があります。写真用が紙厚あり仕上がりも綺麗だと云われていますが、値段の安い光沢紙が良いと思います。フジフィルム、キャノンやエレコムのメーカー品が安心出来ます

9. アルバム冊子としてメーカーに印刷を依頼するために pdf に変換する

ボリュームの多い冊子として印刷する場合は pdf 原稿を要求されることがあります。win の標準装備で jpg を pdf 変換することが可能ですので手順のみを記載しておきます。

- *写真の上で右クリック
 - *印刷
 - *プリンター(P)から Microsoft Print to PDF を選ぶ
 - *印刷
 - *印刷結果を名前を付けて保存画面になる一名前を付けて保存
- 尚、ボリュームの多い冊子を 1 冊から印刷してくれるところは少なくここが良かった

